今回は先般当財団で実施した、群馬県前橋市での MaaS（Mobility as a Service、移動のサービス化）の実証実験に関する取材についてお知らせします。

この数年、専用アプリで目的地までの複数の交通機関のルート検索・予約・決済が一括で、シームレスに可能となる MaaS の社会実装に向けた動きが各地で活発になっています。

前橋市では、移動手段がマイカー中心になりつつある中、公共交通機関の利便性を高め、利用促進を図るべく、同市版 MaaS の“MaeMaaS”に取り組んでいます。
“MaeMaaS”の対象となっている交通手段は、鉄道、バス、デマンドバス、シェアサイクルで、取材時にこれら全てを利用してきました。

筆者は、MaaS を世界で初めて導入したフィンランドの首都ヘルシンキでも体験してきました。専用アプリ“Whim”により、上述した MaaS の仕組みがしっかり構築され、初めて訪れた場所での移動にはたいへん役に立つサービスだと感じました。

“MaeMaaS”では独自アプリが設定されているものの、交通機関利用代金の決済は事業者ごとに行わなければならないなど、その利便性について満足できるものではありませんでした。
現段階では資金や運営面などで様々な制約があり、理想とする形に至っていない模様です。

国内では、交通手段と観光、商業、防災・減災等の交通分野以外のサービスを連携させ、地域課題の解決策を目指す「日本版 MaaS」実現に向けた取り組みが各地で行われています。
前橋市もその一つですが、果たして「日本版 MaaS」は実現、普及するのでしょうか。

当調査報告の詳細は動画化の上、当財団動画学習サイト「早わかり！クルマ塾」内の「最新のクルマ・交通情報」コーナーに近日掲載する予定です。

【「早わかり！クルマ塾」内、「最新のクルマ・交通情報」コーナーURL はこちら↓】
http://www.jaef.or.jp/6-kurumajuku/johokan/latest-news/index.htm

日本自動車教育振興財団 メルマガ事務局

▼"ツイッター"を始めました。
https://twitter.com/jidousyakyouiku

▼本メルマガへのご登録内容の編集･解除は、以下よりお願いします。
https://matomete-mail.com/bm/p/f/tf.php?id=149239601